

2023年度 北海道大学大学院 文学院修士課程入学試験（前期）

試験区分	<input type="checkbox"/> 一般入試 <input checked="" type="checkbox"/> 外国人留学生特別入試 <input type="checkbox"/> 社会人特別入試（後期のみ）
試験科目名	<input checked="" type="checkbox"/> 専門試験（言語科学） <input type="checkbox"/> 共通外国語（ ）
出題の意図	<p>言語科学研究室の試験問題は、言語学、国語学、日本語学、英語学、ドイツ語学・ゲルマン語学、フランス語学・ロマンス語学、ロシア語学・スラブ語学、の7分野から成っており、どれかひとつの分野の問題を選択して解答することになっている。いずれも学部教育で習得すべき基礎知識と大学院での研究に必要な能力を問う内容であり、専門用語および設問形式による基本概念の解説と応用、各分野の資料に基づく専門的な解釈を織り交ぜて出題している。</p>

2023年度

北海道大学大学院文学院修士課程入学試験問題（前期）

（専門試験） 言語科学 全10枚のうち1枚目

この試験では、試験問題10枚、解答用紙 3枚を配付する。

解答における注意

専門試験 言語科学 の問題は下記の7つの出題範囲からなっており、この順番に並んでいます。この中から志望する分野に応じて、ひとつの出題範囲だけを選択して解答してください。複数の出題範囲にまたがって解答してはいけません。問題の形式は出題範囲によって異なることがありますので、各出題範囲の指示に従って解答してください。

出題範囲

言語学

国語学

日本語学

英語学

ドイツ語学・ゲルマン語学

フランス語学・ロマンス語学

ロシア語学・スラブ語学

[言語学]

言語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に日本語で解答して下さい。

設問Ⅰ[言語学]

以下の英文を読み、問1～問4に日本語で解答して下さい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

(出典: Martin Haspelmath (2008) Ditransitive Constructions: Towards a New Role and Reference Grammar Account)

(URL:https://www.researchgate.net/profile/Martin-Haspelmath/publication/40853562_Ditransitive_constructions_Towards_a_new_Role_and_Reference_Grammar_account/links/5405c6f0cf2bba34c1d94ed/Ditransitive-constructions-Towards-a-new-Role-and-Reference-Grammar-account.pdf?origin=publication_detail)

問1 下線部(a) ditransitive construction (複他動詞構造) について、本文の内容を参考にして説明しなさい。

問2 下線部(b) intransitive verb (自動詞) について、本文の内容を参考にして説明しなさい。

問3 下線部(c) ergative (能格) について、本文の内容を参考にして説明しなさい。

問4 下線部(d) primary object/secondary object distinction (一次目的語/二次目的語対立) について、本文の内容を参考にして説明しなさい。

設問Ⅱ[言語学]

以下の用語から5つを選び、具体的な例をあげて説明しなさい。

- a. point of articulation (調音点)
- b. onset (頭子音)
- c. parts of speech (品詞)
- d. paradigm (語形変化表)
- e. bound form (拘束形式)
- f. logical structure (論理構造)
- g. reflexivization (再帰化)
- h. reference point ability (参照点能力)
- i. protoform (祖型)

[国語学]

国語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示にしたがって、両方の設問に日本語で解答して下さい。

設問Ⅰ [国語学]

次に掲げる事項の中から5つを選び、それぞれ具体例を挙げつつ簡潔に説明して下さい。

- 1 万葉仮名
- 2 ク語法
- 3 和漢混淆文
- 4 声点
- 5 四つ仮名
- 6 節用集
- 7 洒落本
- 8 二段動詞の一段化

設問Ⅱ [国語学]

A 中世後期の音便について調べる場合、どのような辞書・参考文献を調べ、どんな文献について、何を使って用例を集めればよいですか。なるべく具体的な書名やデータベース名を挙げながら、研究の方法について順序立てて記述して下さい。

B 次の文章を読んで、(1)(2)の設問に答えて下さい。

Vaxito, catatçuburino coto.

Aru vaxi catatçuburiuo mitçuqete curauōto furedomo, canauanādareba, carafuga fobacara vareni fonofābunuo cudafareba, coximefu yōuo voxiyemaraxōzu: fono catatçuburiuo totte tacō tobiagari, ixino vyeni votofaxerareito iyeba, vaxi fono gotoqu furu toqi, tayafū vareta.

Xitagocoro.

Tatoi icanaru yxei curaini facannaru monode ari toyūtomo, yono fitono yqenuoba itçumo qicōzuru cotoga moppara gia. Yxeiua chiyeuo mafu monodeua vorinai: chiyeya gacuxa nomini aru.

(『天草本伊曾保物語』「鷲と、カタツプリのこと」)

(1)全文を現代日本語に訳して下さい。

(2)音韻・文法・語彙・表記など任意の観点から、この資料に見える言語事象を取り上げ、わかりやすく説明して下さい。

[日本語学]

日本語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に日本語で解答して下さい。

設問Ⅰ [日本語学]

問1 次の例文の下線部は2つの解釈が可能である。2つの解釈の違いがわかるように説明し、そのときの構造の違いについても説明せよ。

(1) その学生たちは時間通りにやってきた。

問2 日本語における語彙的な複合には一定の制約が見られる。下記の(2)(3)(4)は適格であるのに対し、(5)が不適格になることについて説明せよ。

- (2) 泣き別れ
- (3) 泣き別れる
- (4) 泣き笑い
- (5) *泣き笑う

設問Ⅱ [日本語学]

問3 以下の用語・トピックのなかから 4つ選んで説明しなさい。例を挙げるときは日本語の例を含むようにしなさい。

- a. 意味の三角形(semantic triangle)
- b. 基本母音(cardinal vowel)
- c. 倚辞(clitic)
- d. 切株語(stump word)
- e. 談話主題(discourse topic)
- f. 主格属格交替(nominative-genitive alternation)
- g. 非従属化(insubordination)
- h. 特殊会話推意(particularized conversational implicature)
- i. 複式流音(duplex liquids)
- j. 重文(compound sentence)

[英語学]

英語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問 I [英語学]

1. 次の用語を英語の具体例を挙げながら日本語または英語で簡潔に説明しなさい。

- (1) metonymy
- (2) assimilation
- (3) mutation plural
- (4) performatives
- (5) Cockney

2. 認知言語学はどのような点で「認知的」なのだろうか？ 自分の考えを具体的な言語分析に言及しながら 500 語程度の英語で説明しなさい。

設問II [英語学]

次の英文を読み、下の問に答えなさい。

*** 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、
下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。**

（出典：Ronald Langacker (2012) “Interactive cognition: toward a unified account of structure, processing, and discourse,” *International Journal of Cognitive Linguistics* 3.2, pp.104-5, 一部改変）

問1 下線部(1)を日本語に訳しなさい。

問2 下線部(2)を日本語に訳しなさい。

問3 下線部(3)において「符号化が間主観的プロセスである」とされているが、それはなぜか？
本文に則して100字以内の日本語で説明しなさい。

[ドイツ語学・ゲルマン語学]

ドイツ語学・ゲルマン語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問 I（ドイツ語学・ゲルマン語学）

次の問 1～5 からどれかひとつを選択して解答しなさい。

問 1 次のドイツ語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Lars Vorberger: *Hessisch*. Berlin. Dudenverlag. 2022: 45-46.

問 2 次のオランダ語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：*Groot Nieuws Bijbel*. Nederlands Bijbelgenootschap. Haarlem/Katholieke Bijbelstichting. 's-Hertogenbosch. 1999: 94.

問 3 次のスウェーデン語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：*Bibeln*. Svenska Bibelsällskapet. Stockholm. 1982: 168.

問 4 次のデンマーク語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：*Bibelen*. Det Danske Bibelselskab. København. 1998: 1140.

問 5 次のノルウェー語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：*Bibelen*. Bibelselskapets Forlag. Oslo. 1987: 112.

設問 II（ドイツ語学・ゲルマン語学）

次の問 1 と問 2 に日本語で解答しなさい。

問 1 「設問 I」の問 1～5 の文章からどれかひとつを選んで、冒頭の文を国際音声字母（IPA）を用いて表記しなさい。必要に応じて、適宜、説明を加えてもかまいません。

問 2 ドイツ語の動作態様（Aktionsarten）について説明しなさい。

[フランス語学・ロマンス語学]

フランス語学・ロマンス語学の問題は「設問 I」と「設問 II」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問 I (フランス語学・ロマンス語学)

以下の専門分野に関する問題 1～3 より 1 題を選択し、問題番号を明記の上解答しなさい。

1. 以下のフランス語の文章を日本語に訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Christian Touratier, 2000, *La sémantique*, Armand Colin, Paris, pp.61-62.

2. 以下のスペイン語の文章を日本語に訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Mario Bunge, 2008, *semántica I*, Editorial Gedisa, Barcelona, pp.117-118.

3. 以下のイタリア語の文章を日本語に訳しなさい。

* 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典 Daniele Gambarara, 2002, *Semantica*, Carocci editore, Roma, p.73.

設問Ⅱ（フランス語学・ロマンス語学）

自分の研究内容について、フランス語、スペイン語、イタリア語のいずれかの言語で作文して説明しなさい。なお、説明にあたっては、具体的な例を提示すること。

〔ロシア語学・スラブ語学〕

ロシア語学・スラブ語学の問題は「設問Ⅰ」と「設問Ⅱ」からなっています。各設問の指示に従って、両方の設問に解答してください。

設問Ⅰ（ロシア語学・スラブ語学）

次の問1または2からひとつを選択して解答しなさい。

問1 次のロシア語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Зализняк А. А., Микаэлян И. Л., Шмелев А. Д. (2015) *Русская аспектология: в защиту видовой пары*. Москва: Языки славянской культуры, С.15.

問2 次のブルガリア語の文章を日本語に訳しなさい。

- * 問題本文は著作権法上の理由からこのホームページに掲載することはできませんので、下記の出典箇所を参照するか、文学事務部教務担当の窓口で閲覧してください。

出典：Търпоманова, Е. (2015) *Евиденциалност в балканските езици: български и албански*. София: ИК „Ни плюс“, С. 54–55.

設問Ⅱ（ロシア語学・スラブ語学）

次の問1または2からひとつを選択して、日本語で解答しなさい。

問1 ロシア語における名詞類の格について、その特徴を詳しく説明しなさい。説明にあたって、具体例を必ず提示すること。

問2 ブルガリア語の分詞について、その特徴を詳しく説明しなさい。説明にあたって、具体例を必ず提示すること。